【授業科目】急性看護学実習Ⅳ　Advanced Practicum of Critical Care NursingⅣ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
吉田 和枝、奥田 美香、安井 美香和	２年次 前　期	選　択	２	９０	実習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	クリティカルな状態にある対象やその家族を総合的にアセスメントし、その結果対象に必要な治療方法を選択し、実施し、評価することを学ぶ。 実習は、実務家教員（吉田、安井、奥田）が進める。 課題に対するフィードバック/日々の実習内容については、口頭での指導および提出された記録物についてコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①クリティカルな状況にある患者・家族に対してケアする中で、高度実践看護師としての自律した看護実践能力、臨床判断を総合的に学修する。 ②大学病院の機能および救命救急センターにおける高度実践看護師の役割を学修する。
時間外学習に 必要な 内容・時間	＊詳細については、実習要項参照のこと。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1時間／１回)（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	実習時期については決定しだいご連絡いたします。 令和 7 年　　月　　日～　月　　日まで（2週間） 実習先：三重大学医学部附属病院、三重県立総合医療センター 救命救急センターおよび集中治療室 １．実習目標 １）クリティカルな状況にある患者・家族に対してケアする中で、高度実践看護師としての自律した看護実践能力、臨床判断を総合的に理解する。 ２）ドクターヘリの受け入れおよび救命救急センターにおける高度実践看護師の役割を学修する。 ２．実習の実際 （1)学生は、到達目標の達成に向けて主体的に取り組む。 （2)学生は、集中治療・看護を必要とする患者を受け持ち、患者の集中治療室入室から退室までの看護過程を展開して看護実践能力を高める。 ３．評価方法 実習目標の達成度（50%）カンファレンスの参加度（20%）実習記録（30%）によって総合的に評価する。60 点以上を合格とし単位を認定する。 吉田 安井 奥田
評価方法 評価基準	実習目標の達成状況、実習記録、課題レポート、実習指導者からのコメントを含めて総合的に評価する。 ＊詳細は、実習要項参照のこと。

教科書	なし	参考書等	適宜指示